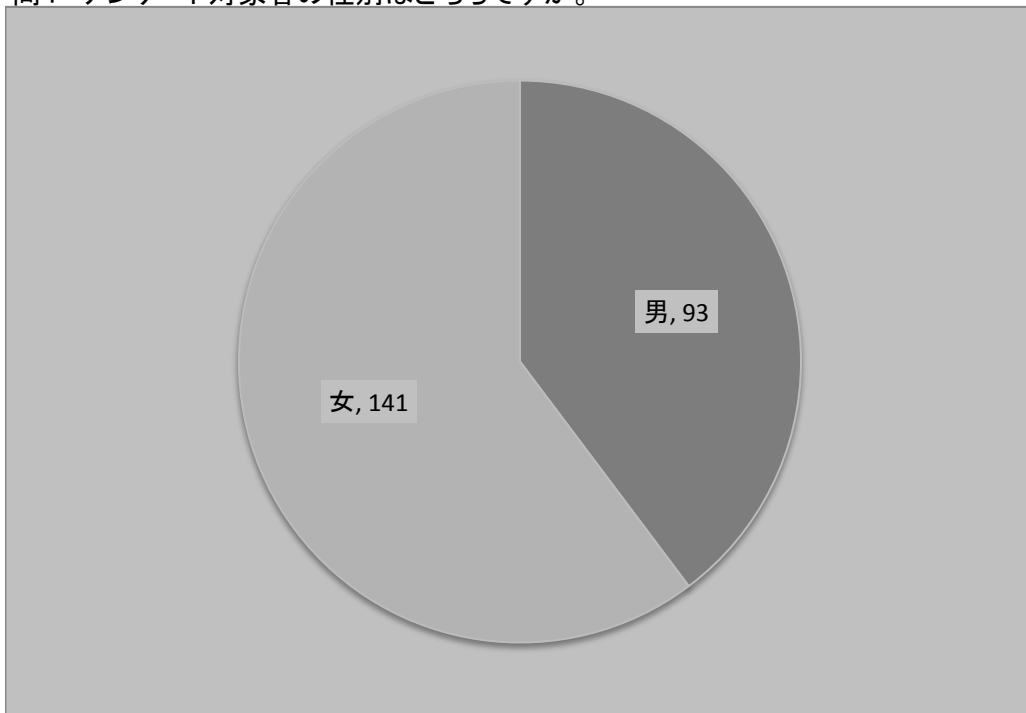
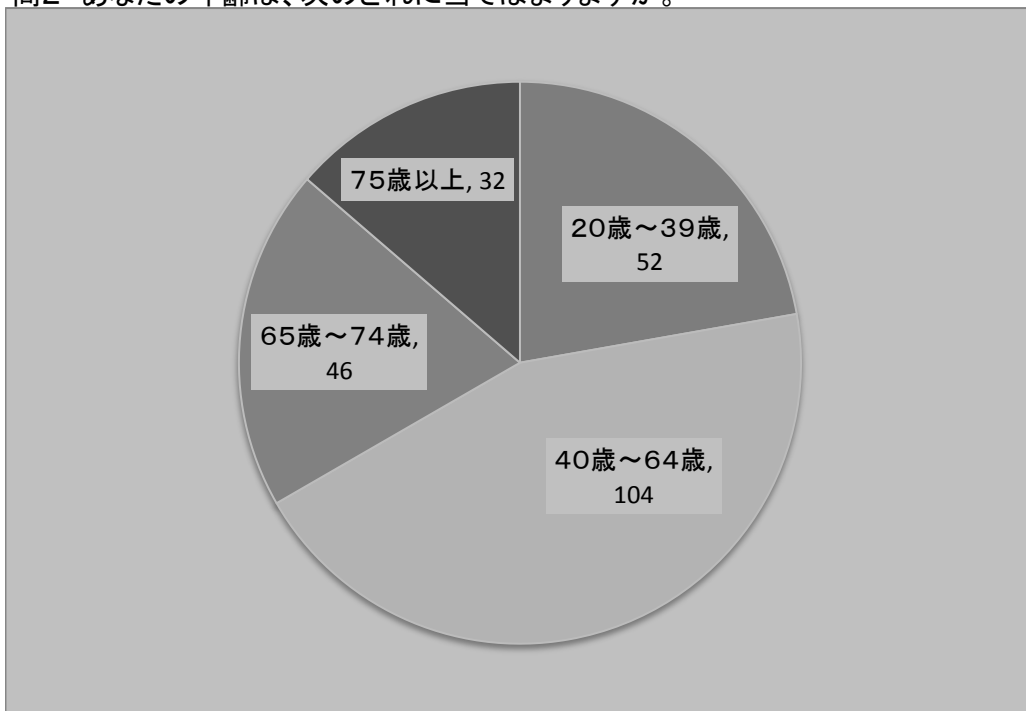


障がい者福祉計画(第3期)の策定に伴うアンケート調査 集計結果 (平成26年8月現在・健常者 二次集計)

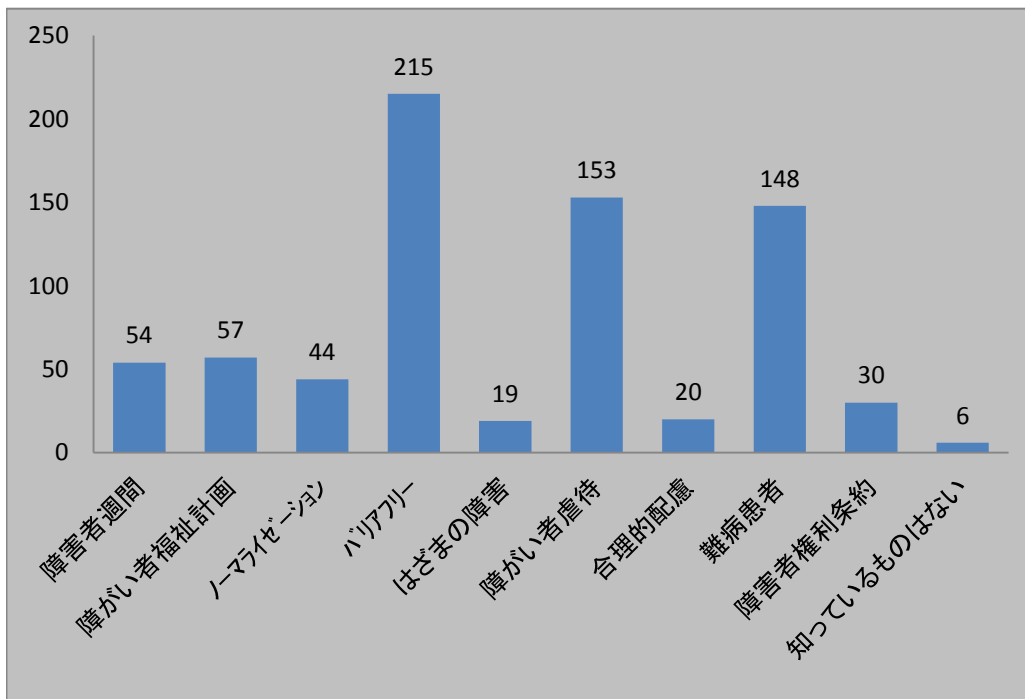
問1 アンケート対象者の性別はどちらですか。



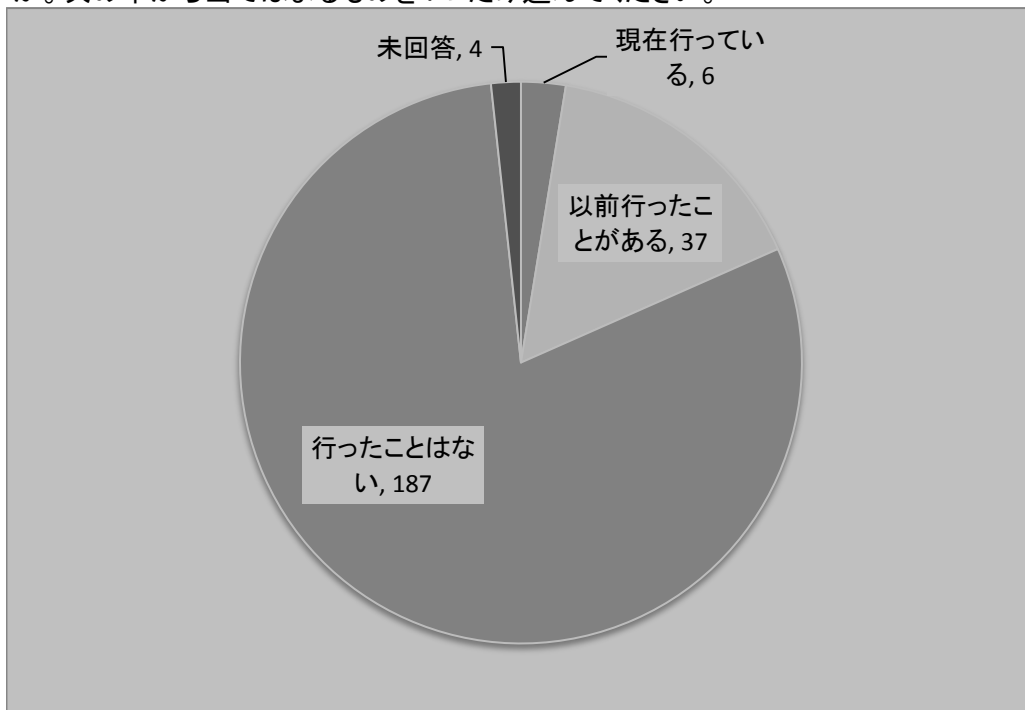
問2 あなたの年齢は、次のどれに当てはまりますか。



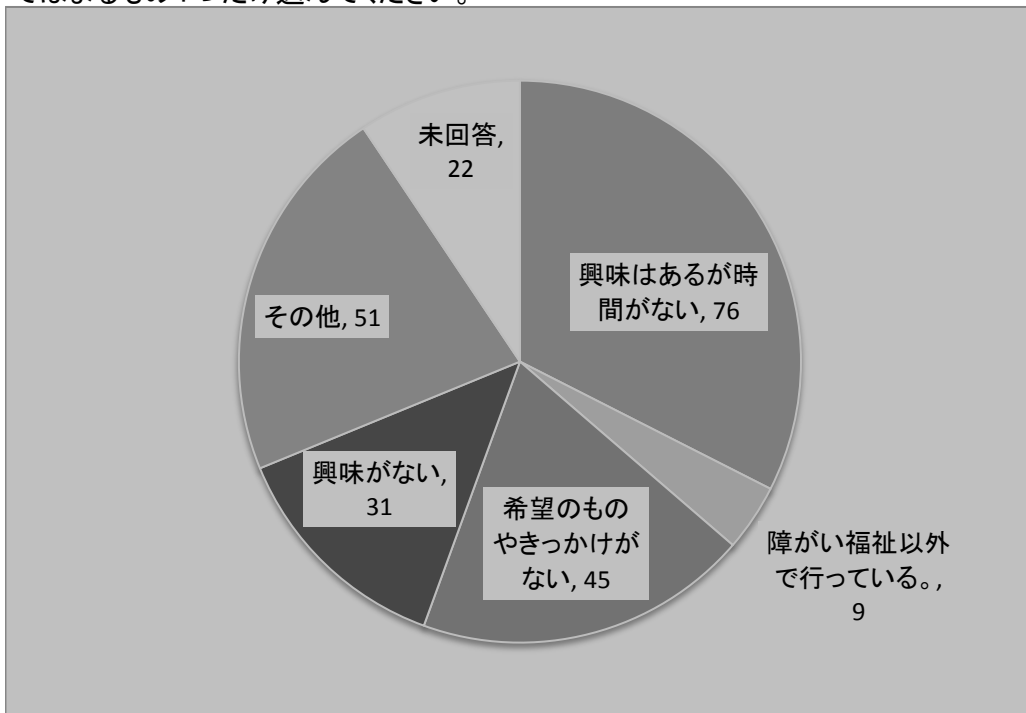
問3 障がい福祉に関する言葉の中で、あなたが知っている、あるいは聞いたことのあるものはありますか。次の中から当てはまるものを全てを次から選んでください。



問4 あなたは、今まで障がい福祉に関するボランティア活動を行ったことがありますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。



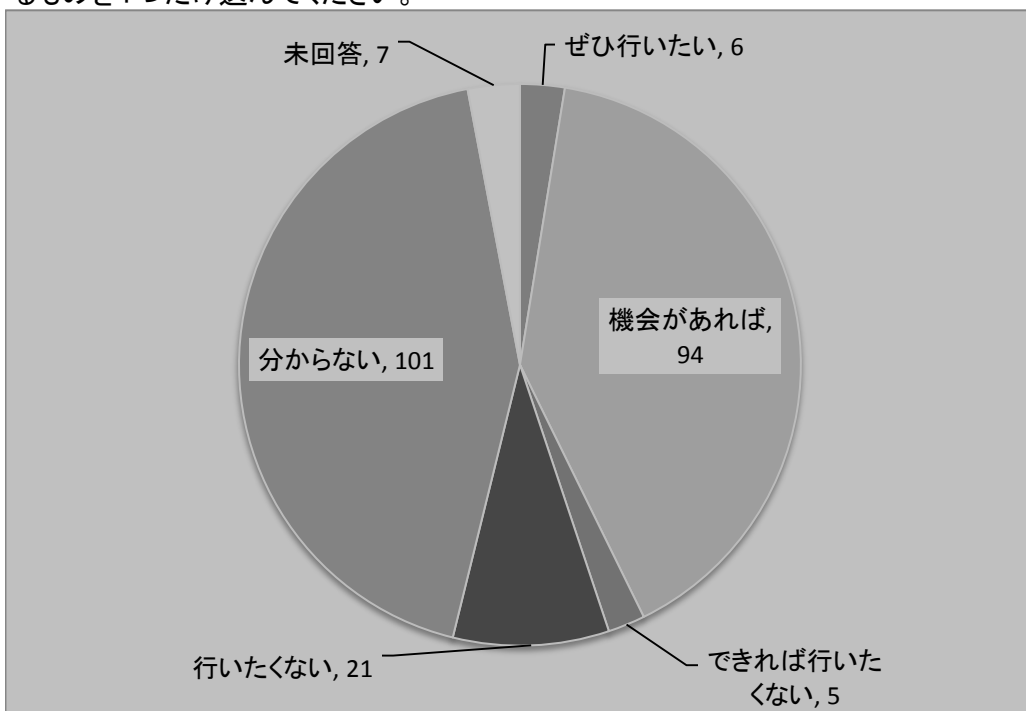
問5 問4で「2 以前、行ったことがある」または「3 行ったことはない」と回答した方にお尋ねします。現在、ボランティアを行っていない理由はなんですか。次の中から当てはまるもの1つだけ選んでください。



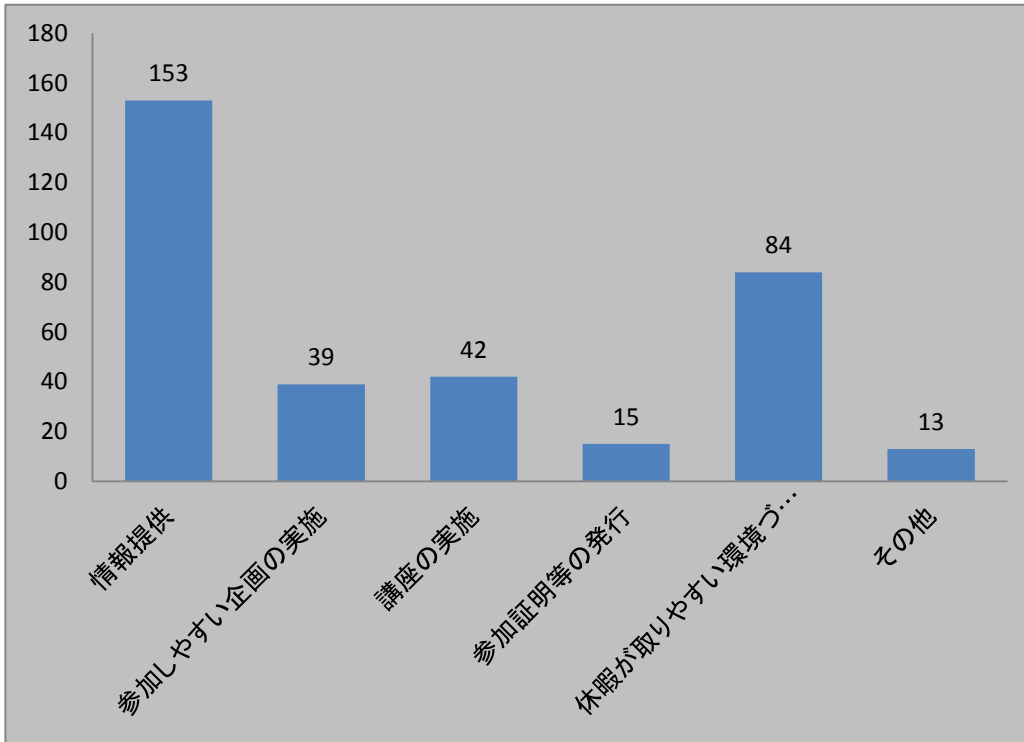
その他

- ・体調不良・高齢 19件
- ・情報が少ない 1件
- ・自信がない 1件
- ・その他 4件

問6 あなたは、今後ボランティア活動を行いたいと思いますか。次の中から当てはまるものを1つだけ選んでください。



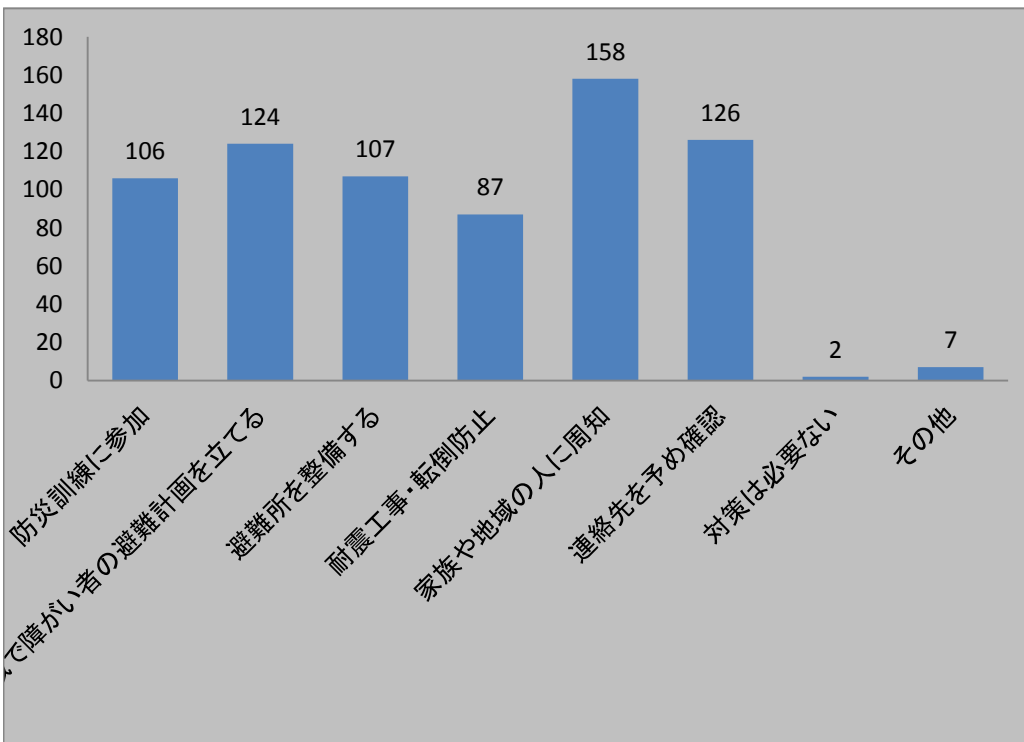
問7 あなたは、ボランティア活動を行うためにどのような支援が必要だと思いますか。次の中から1つ又は2つ選んでください。



その他

・子育て中の方が参加できるような環境作り 1件

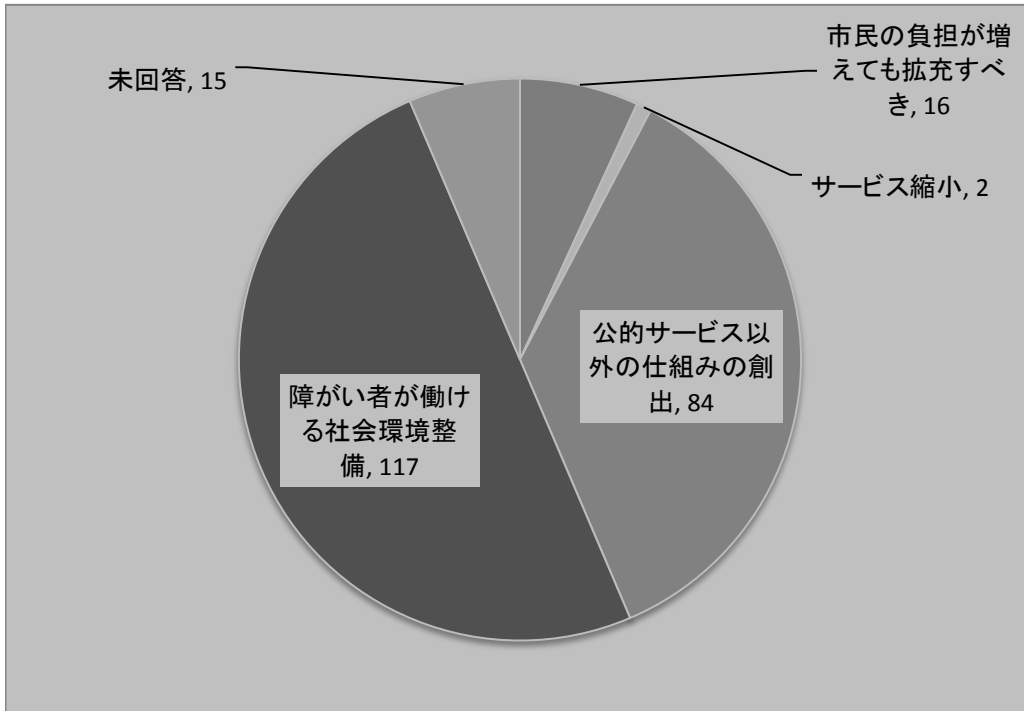
問8 あなたは、障がい者の災害対策として何が必要だと思いますか。当てはまるものを次から選んでください。



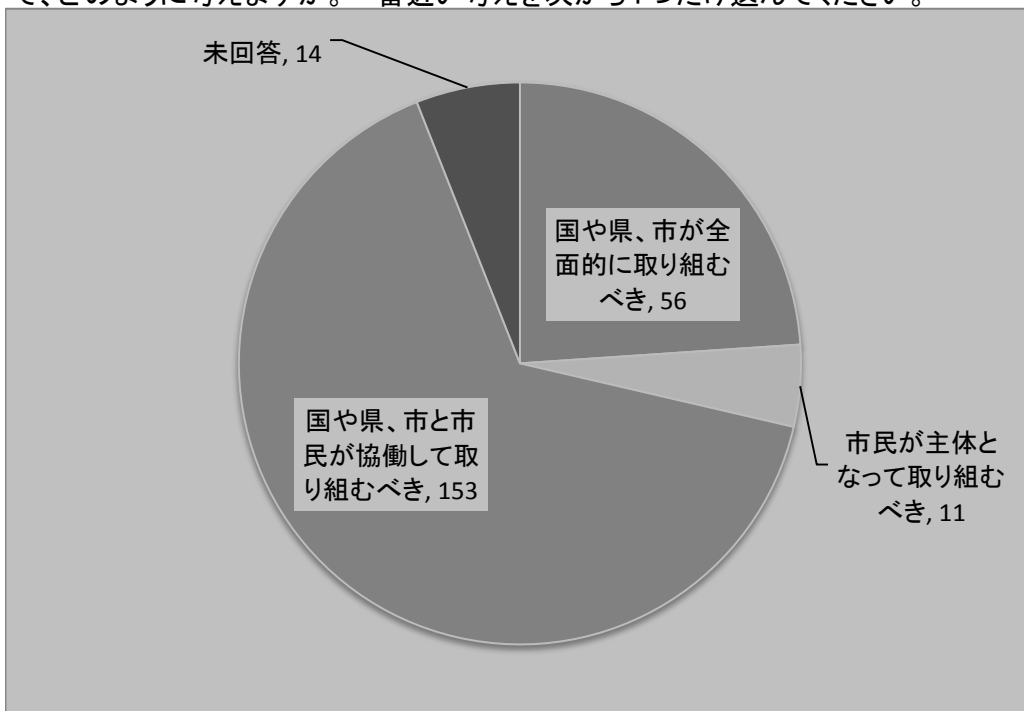
その他

・障がいの特性や対処方法などの情報提供

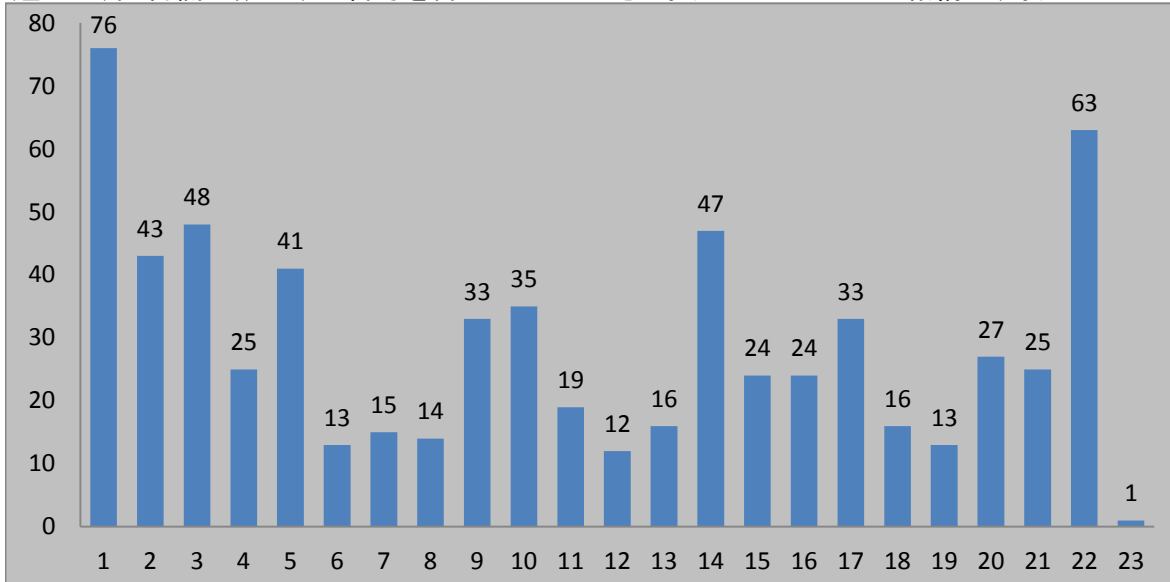
問9-1 今後、社会保障費の増加が予測される中、障がい者福祉はどのようにあるべきだと思いますか。一番近い考えを次から1つだけ選んでください。



問9-2 あなたは、国や市の障がい児者関連施策を実施する際の取り組みについて、どのように考えますか。一番近い考えを次から1つだけ選んでください。



問10 次に掲げる施策・事業のうち、あなたが重視した方が良いと思う事業はどれですか。3つ選んで、回答欄へ該当する番号を書き入れてください。(1つ又は2つでも結構です。)



- 1 居宅サービス(居宅介護・ホームヘルプ・重度訪問介護・短期入所など)
- 2 通所サービス(生活介護・地域活動支援センター・障害児通所支援など)
- 3 就労系サービス(就労移行支援・就労継続支援など)
- 4 居住系サービス(グループホームなど)
- 5 施設入所支援
- 6 障がい児の放課後支援(日中一時支援など)
- 7 移動支援(ガイドヘルプ)・同行援護
- 8 はざまの障がい(発達障がい・高次脳機能障害など)への支援
- 9 難病患者等への支援
- 10 就労・職場定着支援(ジョブコーチ・就労相談など)
- 11 市職員による相談機能(職員の増員・専門資格所持者の採用など)
- 12 相談支援事業所による相談機能(相談時間の延長、相談機能の充実など)
- 13 障がい児に対する相談機能(療育相談・発達相談の充実など)
- 14 ハード面での暮らしやすいまちづくり(段差解消、施設のバリアフリー化など)
- 15 ソフト面での暮らしやすいまちづくり(市民への意識啓発、広報活動など)
- 16 ボランティアの確保、育成
- 17 権利擁護事業(虐待防止、成年後見制度、金銭管理の支援など)
- 18 情報伝達支援(視覚障がい者・聴覚障がい者・発達障がい者などへの情報提供手段の普及)
- 19 市民協働体制(事業の協働運営・当事者活動の推進など)
- 20 災害対策(防災意識の啓発、避難施設や医療の確保など)
- 21 住宅支援(住宅改修費の補助、公営住宅の優先入居など)
- 22 障がいにより発生する様々な費用の助成(医療費・補装具費の助成など)
- 23 特にない

問11 問10で掲げた施策・事業以外に、あなたが障がい児者施策・事業として実施した方が良いと思われるものを自由に記載してください。(未記入でも結構です)

●障害児の兄弟、家族の心理的ケア 3件

●障がいのある者が外からの支援を受けるだけでなく、生き甲斐のある生活を自らの手で自助する施策の充実。自らが頑張り、それを社会が支援する仕組み。

●公立小中学校の支援級の内容の充実。支援する教員には専門的な知識を持って欲しい。

●相談を受けたり、支援する機関がバラバラにある。国・県・市、一括で障がい者支援をして欲しい。

問12 国や県、平塚市が実施する障がいのある方に対する施策について、ご意見やご要望がありましたら、下の記載欄へ自由に記載してください。(未記入でも結構です)

●意識啓発について 7件

・市民一人一人が障がい理解を。国・県・市に全て任せるのではなく、社会全体で支えるべき。
・普通級と特別支援級の交流をし、大人も子どもも色々な工夫をしながら育ってほしい。

●バリアフリーについて 3件

・道路や建物のバリアフリー化の推進。

●就労について 1件

・障がい者が働ける環境整備、作業の創出。

●家族支援について

・障がい者やその家族が孤立しないように訪問・支援する機関が必要。

●ボランティアについて 1件

・学校教育の中で障がい者の生活を知ったり、ボランティアしたりする機会を。

●情報発信について 11件

・市がどのような施策を行っているのか知る機会が欲しい。

・ハード面はしっかりしていると思うが、取り組み内容の広報等によりソフト面での向上を図るとよいのでは。

・市に相談に行ったので色々な支援を受けられたが、待っているだけでは何も受けられない。サービス提供を皆が分かるように示しても良いのでは。障がいのある人が自分から支援を求めていくのは難しい。

・災害時の対策等、地域の人も含めての行動ガイドライン等あれば(障がい者への対応)広くPRして欲しい。

●制度について 3件

・はざまの障がいなど、グレーゾーンの方へのサービス充実

●その他 24件